

地域ケア会議研修会。

令和4年度
(2022年度)

吹田市高齢者見守り体制づくり講演会 (合同企画)

地域福祉市民フォーラムを



開催しました!



令和5年(2023年)1月27日(金)に地域福祉市民フォーラムを開催しました!

(当初予定していた「第4次吹田市地域福祉計画」に関する基調講演については、動画配信となりました。)

会場とオンライン参加含め、114名の方に御参加いただきました!

(見守り体制づくり協力事業者、民生・児童委員、地区福祉委員、介護保険サービス事業者他)

高齢者見守り体制づくり協力事業者として、28の事業者の皆様も参加されました。

当日の基調講演、活動報告については、右記のURLまたはQRコードより御覧ください。

基調講演

『動き出しています! 第4次吹田市地域福祉計画
~みんなでつながり安心~』

いきいきと暮らせるまち 吹田~』

<https://www.city.suita.osaka.jp/kenko/1018735/1018742/1018747/1025178.html>

QRコード→



講師 岡田 忠克様

(関西大学副学長 人間健康学部 人間健康学科教授)

今回のフォーラムでは4つの団体に活動報告をしていただきました。どの報告も人と人とのあたたかな関わりと、優しい気持ちにあふれていました。地域共生社会とは、支援する側もされる側も、同時に、同じだけの幸せを感じられる社会であるという様子が実践報告を通して伝わってきました!

本市はこれからも市民の皆様、事業者の皆様のお力添えをいただきながら、地域共生社会の構築に取り組んでまいります!

(裏面に、4つの団体からの地域共生の取組の実践報告の内容や参加者の声を掲載しています!)



活動報告

吹田市社会福祉協議会

(コミュニティソーシャルワーカー 佐本様)

「ふだんのくらしのしあわせ」にするために、地域住民の助け合い、支え合い活動をサポートする団体として、身近な場所で安心できる生活の実現をめざす活動の内容を報告いただきました。コミュニティソーシャルワーカーは、お節介な（節度ある介入ができる）相談員であると紹介され、コロナ禍であっても地域の方や学生の皆さんなどと工夫しながら、さまざまな活動を進められています。これからも人と人をつなぎ、サポートを受けた人が、次には地域の力となれるような支援に取り組んでいきたいと、力強くお話しいただきました。



活動報告

NPO 法人 フルハウス

(法人理事 桑田様)

不登校の児童、学生の居場所づくりから引きこもりの支援に活動が広がって25年。引きこもりの方が取り組む就労支援について、「対人関係構築や環境の変化といった苦手な部分の克服より先に、民間企業との連携でICTスキルの取得という得意な技能を磨くことに取り組む」「女性が相談しやすい居場所になりたい」という、社会情勢の変化に応じた発想豊かな支援に取り組まれている様子を報告いただきました。

自らがSOSを出すことが難しい、引きこもりの方や御家族が、支援機関と接点をもつためには、地域の方のあたたかな気づきが大切であり、支援者としてもその協力が「とてもありがたいこと」とお話しくださいました。



活動報告

ホッとオレンジサロン

(運営スタッフ代表 新城様)

認知症のある方と御家族に、楽しみや安らげる空間を提供されている様子を御報告いただきました。サロンでのレクリエーションでは、出た目に沿ってお題を決めるサイコロトーク等、みんなで楽しみ、人生の思い出を語りあう等、認知症になっても一人一人が大切な存在として、主人公になれる工夫が凝らされています。報告いただいた新城さんのトークに、会場もオンラインもみんな引き込まれ、笑顔になりました！

介護等の専門職ではなくても、地域の中で声を掛け合う「ちょっとした一歩、ちょっとした一声」のあたたかさが、大きな力になることを実感した報告でした。



活動報告

NPO 法人 フルハウス

(法人理事 桑田様)

活動報告 大阪信用金庫吹田支店

(三上支店長様・竹並副支店長様)

フードドライブへの協力やAEDの啓発活動、支店内ショーウィンドウでの地域高齢者のクラフト作品等の展示の取組について御紹介いただきました。高齢者見守り体制づくり協力事業者としても登録いただいています。

来店される地域のお客様とともに、地域共生の意識を育んでいきたいと、自然なきっかけづくりを心がけておられます。このフォーラムの後日談ですが、早速、地元の地域包括支援センターと連携した、支店内での出張相談会やスマホ講座を開催されています！



参加者からの声

- ✓ NPOや企業の社会貢献について、まだまだ知らないものが多く参考になりました。
- ✓ 企業の福祉的な視点は素晴らしいと思いました。顧客、地域住民とのwin-win関係が社会への還元をもたらし、信用につながると感じました。
- ✓ 地域福祉を支えている方々は「楽しみ」をもって活動していることがよくわかる報告でした。
- ✓ コロナ禍の中で様々な行事が中止になっているため、今後の活動再開の参考にしたいです。
- ✓ 「身近な所からおせっかいになる」って、大切なことだと思いました。

